

ストップ！川内原発再稼働 311km リレーデモ日記

2015年5月21日

デモ6日目（あと122km）

基本計画だけ作り、なにも考えてない八代市 中日はメンバーだけで、夕日を見ながら会食



▲申入れ後、八代市役所玄関前で

八代では昨夜の平和行進に続き、9時から対市申入れ。副市長室で、市長の代わりに脇坂危機管理監ら3名の対応。1時間半の交渉となった。

避難問題では結局、「原子力災害対策計画」の作文をただけ、ということが判明。その説明会も、防災訓練も何もやってない。住民は車両で避難する計画だが、車両が足りるか否かも判っていない。同市は川内原発から85キロの距離だが、その距離は福島で言えば三春町に相当するというのに…。

●「計画」を作っただけ、の八代市を批判

行政の「民度」は、住民の運動によって決まるのだと思う。今日の議論は、地元のU市議が6月議会で議論しようと引き取って下さった。また同席された宇土市のN市議も「参考になった」ということだった。鹿児島から駆けつけてくれたM県議は、住民の生命・財産を守る自治体の責任を強調していた。

薩摩川内市民は、原発事故時、北に逃げる人も多い。水俣や八代など西九州の住民たちとの連携の重要さをかみしめた申入れ行動だった。



▲再稼働への見解を出し渋る市当局
再稼働は国・県に預ける問題ではない

★時には一息。宇土市の宿から雲仙を望む。
ちょうどリレーデモは半ばを越えた。



連絡先：☎090-4759-2927(岩下)